

2021年8月

**2021年度
四万十町地域イノベーター養成講座
第2回 ビジュアルレポート**

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

実施概要

- 日 時：令和3年8月21日（土） 13時00分～18時00分
- 会 場：四万十町十和隣保館
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人一人が自分ごととして、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
13:00-13:10	チェックイン	・ 今の気持ち・前回からのアクション
13:10-15:00	キーノートスピーチ	・ 丑田俊輔 氏（ハバタク株式会社 代表取締役）
15:00-16:35	マイプロワーク	・ マイプロジェクト（project編）の発表・質疑応答
16:35-17:30	LSPワーク/オンラインワーク	・ レゴ®シリアスプレイ®を活用した関係形成ワーク ・ テーマ発見シートを使ったワーク
17:30-17:50	チェックアウト	・ 次回までのスケジュール・課題確認

(参考：フライヤー)

令和3年度
第5期生募集

回覧



地域イノベーター 養成講座





四万十町では、何か新しいことを始めてみたい、
地域のために何かしてみたい、という方などを対象に
地域イノベーター養成講座(全6回の連続講座)を
開講しています。アイデア実現のための仲間づくりと学びの場を
提供するだけでなく、やりたいことがまだない方やいろいろな
学びを得たい方にもおすすめです。お子様連れの方でも参加いただけます。
年齢や所属は問いませんので、お気軽にご応募ください。

主催：四万十町
協办：高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

スケジュール・内容 ※いずれも13:00-18:00で開講いたします

7/31(土)

自分の想いと価値観を
掘り起こす



大久保 伸隆 氏
(株式会社ナライン 代表取締役)

1993年生まれ、千葉県出身。大学卒業後、不動産会社を経て、2007年エービーシーカンパニー入社。店長などの経験から事業部長を経て、2012年取締役営業本部長に就任。東証マザーズ上場。東証一部への市場変更を経験し、2014年に副社長に就任。フルタイムをやるにあたって独自の取り組み「オンライン営業」などの紹介から、2016年6月に退社。同年7月にナラインを設立し、代表取締役を務める。現在は「食育啓蒙」「食育地産産直」(東京・港区新橋)、「EATUTAMA」(千葉・佐倉ニュータウン)などを経営。独自の経営モデルは「ライブの夜明け」に紹介される。飲食店の経営を通じて、まちづくりのプロデュースに繋がる。著書に「ライブを大事にする飲食店は必ず繁盛する」(2018年)

8/21(土)

自分ゴトで取り組める
問題を見つける



丑田 俊輔 氏
(ババタ株式会社 代表取締役)

公共施設をまちづくり拠点として再生する「まちだプラットフォームスクエア」、日本IBMを経て、2010年にババタを創業。国内外を舞台にした様々な教育事業を展開。2014年、秋田県五城目町に移住。10年、秋田県五城目町に「ドチャペン」、市民会を舞台に地域を繋ぐ「シェアビレッジ」、週休無給で働き続ける「ただのまが橋」、住居参加型小学校建設「建てる学校」支援等を推進。2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。

10/2(土)

自分と紐づいた
プロジェクトを描く



岸川 政之 氏
(一般社団法人 未来の人口ビジョンプロジェクト 代表理事)

1957年8月15日生まれ。大学卒業後、1982年多摩町入り。税務課、教育委員会、総務課、企画課、農林課工課などを経て、2011年4月「まちの宝創造特命監」に就任。高校生レストラン「まごの店」やその発想が運営する惣菜とお弁当の店(特)相可フードネット「せんばいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域づくりに取り組む。これらの取り組みは、国土交通省ふるさとづくり農大賞、総務大臣優秀賞など多くの賞を貰った。2011年5月からは高校生レストラン「まご」をテレビドラマでもちめ話題を呼んでいる。

11/6(土)

未来の姿を
想像する



小笠原 舞 氏
(株式会社地産/消費地産共同会 代表理事)

大学では福祉を学び、社会人経験を経て、保育士となる。こどもたちが育ちやすい環境を作ることが、「Well-being」(誰もがよい生活を送れる社会)につながると思い、2012年子育てコミュニティを築き、2015年に仲間たちとて定期を構想し、2017年に「おひさま」を立ち上げ、2017年より、エンターテインメントとしての質の高い「おひさま」のみならず、2020年に、自主事業「おひさま」をオンライン化し、全国の親子を対象に新しい子育て支援の形を作っている。著書「いい親より大切なこと〜こどものために」は「しなやかな心」にあった〜」がベストセラーで、神戸市長田区の下町情緒と多様性あるふるさとをつなぐのがこの中で、夫と子ども(3歳)と家族の暮らしを流しこんでいる。

12/4(土)

小さな一歩を
踏み出してみる



寺井 彩 氏
(株式会社イグジティブ・プラットフォーム)

大学で文化人類学、紛争解決について学んだ後、英大大学院にて国際関係学修士を取得。映像を使った社会開発・エンパワメント・啓蒙手法を学ぶ。2017年より、エンターテインメントとしての質の高い「おひさま」を立ち上げ、2020年に、自主事業「おひさま」をオンライン化し、全国の親子を対象に新しい子育て支援の形を作っている。著書「いい親より大切なこと〜こどものために」は「しなやかな心」にあった〜」がベストセラーで、神戸市長田区の下町情緒と多様性あるふるさとをつなぐのがこの中で、夫と子ども(3歳)と家族の暮らしを流しこんでいる。

1/22(土)

学んだことや
取り組みを発表



小澤 いぶき 氏
(NPO法人 P.ECS代表)

精神科医を経て、児童精神科医として複数の病院で勤務。トラウマケア、虐待被害、発達障害児を専門として臨床に携わり、多数の自治体のアドバイザーを務める。さいたま市子育てインクルーシブコミュニティを上げ、プログラム開発に参画。2016年、ホストのFish Family Foundationのプログラムの4名に推薦されリーダーシップ研修を修了。2017年3月、世界各国のリーダーが集まるザルツブルグカンファレンスに招待。子どものウェルビーイング達成に向けたザルツブルグプラットフォーム作成に参画。

井口 佐奈恵さん(3期)

先週のワークショップを聞いてみたいという私の希望のテーマで、この講座は自分自身の課題を学ぶ機会です。私も最近では、新しいことを始めるのが怖いです。でも、それに取り組むことが、自分の成長につながると思います。講座を通して、自分自身の課題を明確にし、乗り越えるための方法を学びたいです。

西村 咲希さん(4期)

私が何故か自分自身でやりたいことが見つからなかった。この講座を通して、自分のやりたいことを明確にし、実現するための方法を学びたいです。また、他の受講生と交流したいです。

窪 博正さん(2期)

1年間ノベーター講座に参加し、自分自身の課題を明確にし、乗り越えるための方法を学びたいです。また、他の受講生と交流したいです。

受講生の声

川口 加代子さん(1期)

今、四万十町で生活して、心から思えるのは、この講座のおかげです。7年前、母の介護のために仕事を辞めた私には、この講座が大きな励みになりました。講座を通して、自分自身の課題を明確にし、乗り越えるための方法を学びたいです。

岩垂 桂也さん(1期)

入塾して成長を感じたい人は、ぜひ参加してください。自分の思いを実現するために、仲間と協力することが大切だと思います。自分一人ではできないことも、仲間がいることでできることがある。ぜひ参加し、成長を感じてください。

講座の流れ

対話

講座

自分のこれまでの人生を振り返りながら、疑問や、やりたいこと、関心など本音の自分を分かち合います。

実践

チャレンジ

自分と紐づいたプロジェクトを調べ、話を聞くなど、できることから小さくアクションしていきます。

伴走

オンラインメンタリング

アクションを通して感じたことを仲間や学生メンターと対話しながら、振り返ります。

講座のたびにくりかえし実施して進めていきます

- 募集人員 10名程度を予定
- 受講料 ① 町内に住所がある方…5,000円 ② 町外に住所がある方…10,000円
- 講師 高知大学 地域協働学部 須藤 順 先生
- 応募要項 右下のQRコードの応募フォームからご応募いただくか、エントリーシートに必要事項を記入して、下記のいずれかの方法でご応募ください。
- ① 持参する場合、人材育成推進センター、もしくは各地域振興局に7月26日(月)までに提出してください。
- ② 郵送、メール、もしくはFAXで人材育成推進センターまでお送りください。なお、エントリーシートは、四万十町ホームページからもダウンロードできます。
- 受講資格 四万十町で活動する意思のある方、並びに、四万十町の資源を活用して活動する意思のある方、原則として、全講座に参加できる方を対象としています。
- 受講料納付方法 受講料は、第1回目の講座の時にご持参ください。
- その他 講座内容や開催場所(四万十町内)等の詳細については、受講生の方に通知いたします。

事務局

四万十町役場 人材育成推進センター
(担当: 横山 光一・吉村 愛)

T786-8501

高知県高岡郡四万十町禅山3番7号

E-mail 1030606@townshimanto.lg.jp

TEL 0980-22-3163

FAX 0980-22-3345

申し込み
フォーム

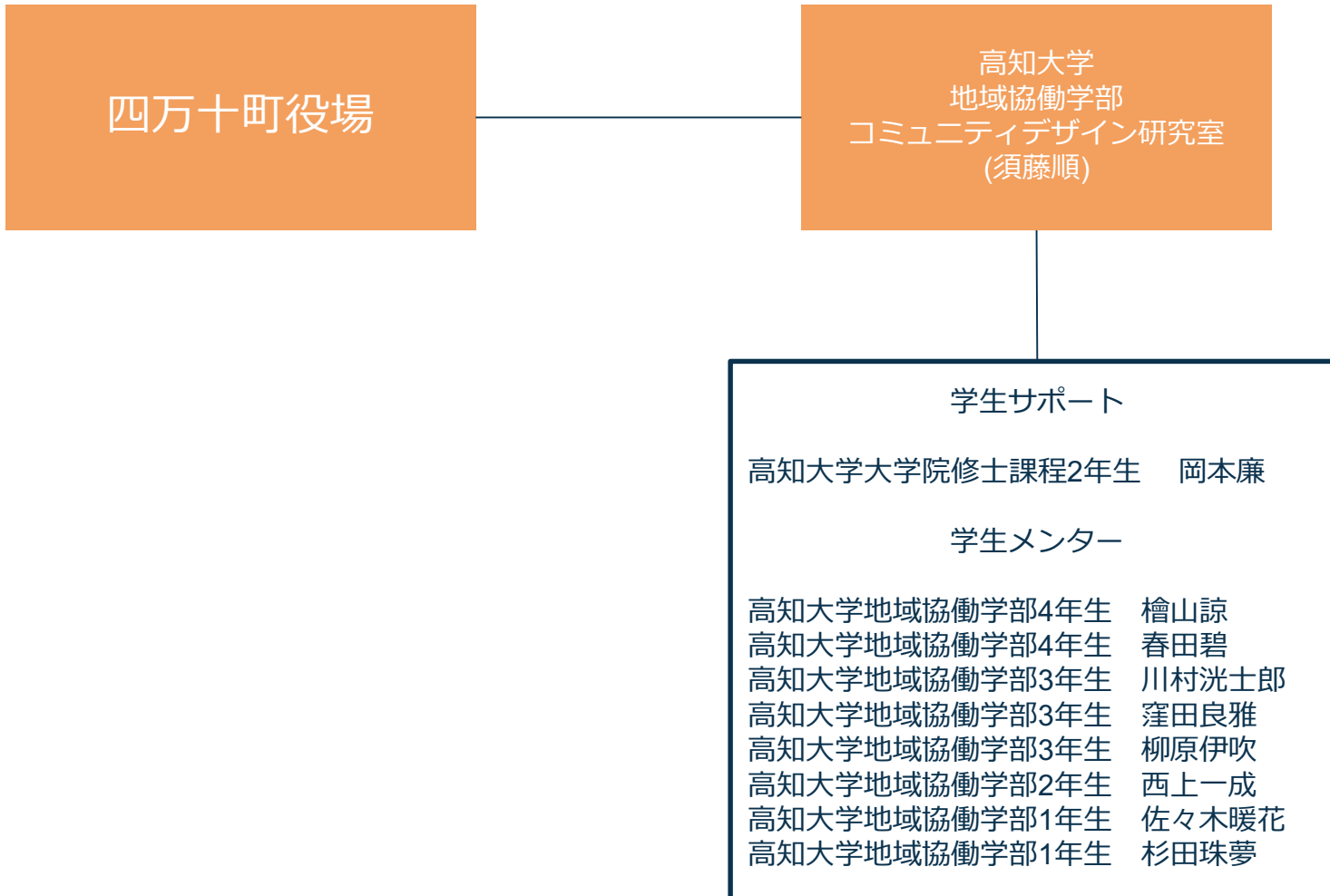


キトリ

令和3年度 地域イノベーター養成講座エントリーシート				
氏名	フリガナ			
職業	電話	メールアドレス		
年齢	性別	住所		
あなたが興味点で思っているプロジェクトや、四万十町でやってみたいことがあればご記入ください。				

Copyright © 2021 Jun SUTO All Rights Reserved.

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

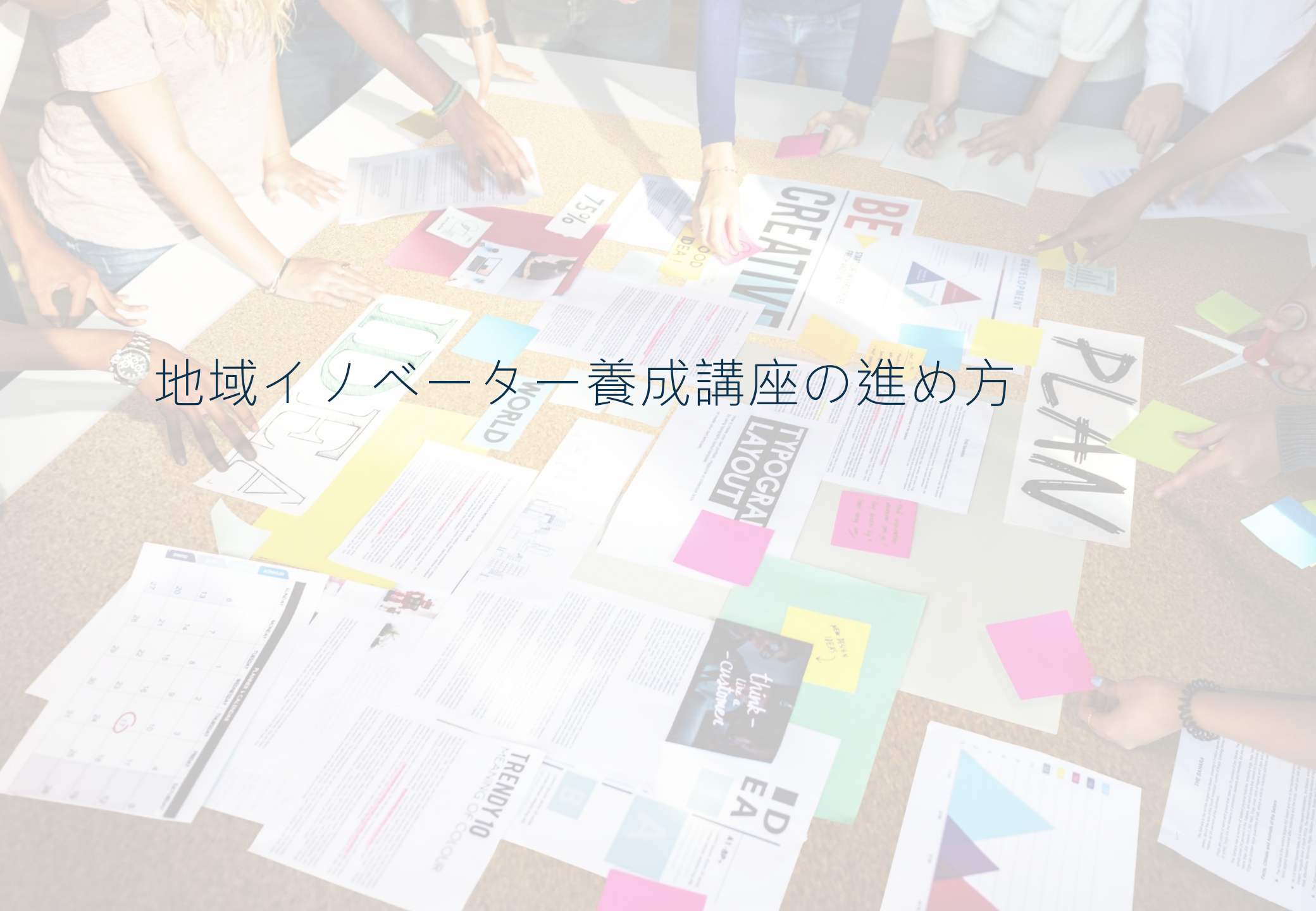
2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

地域イノベーター養成講座の進め方



進め方（概略）



本当の自分を語り合う

自分のこれまでの人生を振り返りながら、好きなものや関心があること、疑問に思っていること、やってみたいことを語り合う。

アクションしてみる

自分と紐づいたプロジェクトを小さくやってみる。先輩を訪ねたり、調べてみたり、誰かに話してみたり、自分ができることに取り組んでみる。

振り返る

アクションしてみて気づいたこと、感じたこと、思ったことを仲間やメンターと対話をしながら振り返り、自分の本当の気持ちに向き合う。

2つのシートを使って対話とアクションを繰り返していきます！

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日： 場所：
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (～小学校)	人生グラフ：横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう！	
(～中学・高校)		
(～専門・大学)		
(～現在)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
今		

マイプロジェクトの源泉へ

← me編シート

- ・自分のライフストーリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

PROJECT編

わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で！

■実践したいプロジェクトの概要

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

■「やってみたい！」と思った、理由や背景、原体験

■「誰」にどんな価値を生み出しますか？

本講座のゴール

idea



- 1** 自分が情熱を傾けられるモノ・コトを自分の経験の中から見つけ出す
- 2** 「アクションしながら学びを得る」ことを意識し、徹底して、行動と対話を繰り返す
- 3** 自分らしいと思えるプロジェクトを描き、自然体で向き合える仲間づくりを行う

場のルール

Growth

Vision

Resea

Business

Success

Marketing

Sup

Cre

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

講座の様子



チェックイン

今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、オンラインと会場の同時進行で開催された。はじめに、全体でチェックインを行い、高知大学須藤より講座の流れについて説明を行った。初回と比べると、和やかな雰囲気を感じられ、オンラインと会場の両者ともに緊張なく始めることができた。チェックインの最中は、オンライン開催だからこそ今回参加できた、というような声もあり、積極的な参加意識が伺えた。



挨拶



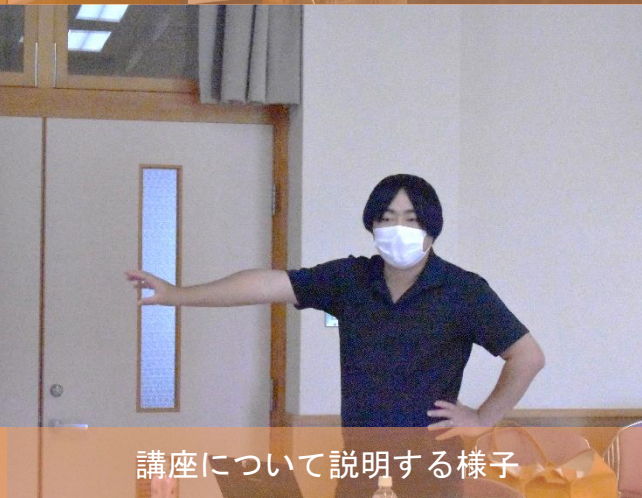
チェックインの様子



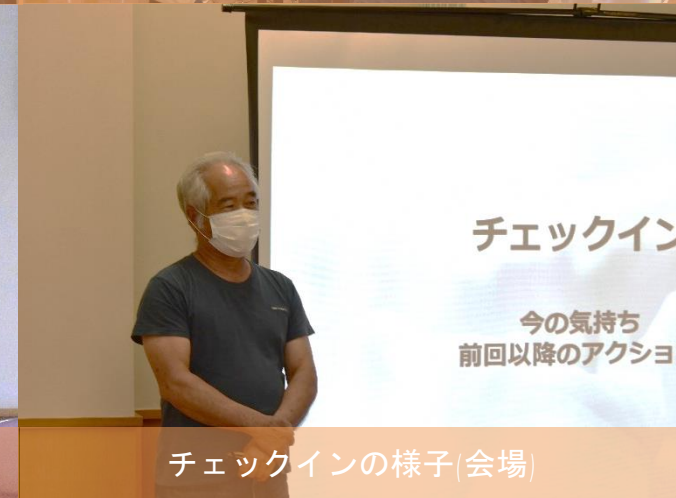
受講生の様子



チェックインの様子 (オンライン)



講座について説明する様子



チェックインの様子(会場)

キーノートスピーチ

キーノートスピーチでは、丑田俊輔氏より「自分ゴトで取り組める問題を見つける」というテーマで講義が行われた。

丑田俊輔（ハバタク株式会社 代表取締役）

公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクエア」、日本IBMを経て、2010年にハバタクを創業、国内外を舞台に様々な教育事業を展開。

2014年、秋田県五城目町に移住。

田舎発起業家を育む「ドチャベン」、古民家を舞台に地域を繋ぐ「シェアビレッジ」、遊休施設を遊び場化する「ただの遊び場」、住民参加型小学校建設「越える学校」支援等を推進。

2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。

◆ 最初の拠点：BABAME BASE

五城目町は観光地では無いものの、歴史ある朝市や酒蔵、林業の盛んな小さな町である。東京で働いていたときの経験から、「地域のつながりの資本」の大切さを感じていた丑田氏は、五城目町への移住を決める。小さくとも多様な起業家や個人が集まる方が、これから働く世代にも、選択肢が生まれて変化に強い町になる、と考えた地元公務員の考えに共感し、小学校の廃校舎を活用したシェアオフィス「BABAME BASE」に秋田で最初の拠点を置いた。

◆ 地域のコミュニティで暮らしをつくる：Share Village

都会と田舎のシェア・学び合いをテーマとしている丑田氏は、都会も田舎もそれぞれに豊かさがあると考え、暮らしの中で資源と出会っていくことが、田舎の起業論かもしれない、と話す。会員制の宿泊施設である「Share Village」も、近所の散歩中に、維持管理が難しくなった古民家と出会ったことがきっかけだ。「さあ、あなたも年貢の納め時」というスローガンのもと「村民」と呼ばれる会員は、「寄り合い」と呼ばれる茅葺き作業や、「一揆」と呼ばれるイベント等を通して、地縁、血縁を超えた共同体を築いている。

「村民」には県外の若者も多く、そういった地域外の若者が街中を歩くことで、町の至るところで小さな変化が起こり始める。寂れつつあった朝市では若者が自主的に行動を起こし、組合に所属していなくても出店できる仕組みが生まれた。すると、夢実現の第一歩として出店する人や、町外の客も増え、小さなチャレンジや、様々な世代の人が一緒になって遊んでいるような余白が、町に生まれていった。

◆ 地域の共有資源：ただのあそび場

他にも、子どもたちが安心して遊べる場所がないという課題に共感した住民らが廃墟を改装し、地域の有志で運営する「ただのあそび場」が生まれた。「ルールがない」ことがルールだが、次第に子供たちが自ら考え、秩序が生まれていっているという。そういったチャレンジしやすい環境から、町は少しずつ変化し続けている。



講演をする丑田氏



丑田氏の話聞く受講生

マイプロワーク

マイプロについての詳細説明を須藤が行った後、マイプロproject編を共有した。オンラインと会場、合同でグループを編成して共有を行った。学生メンターのサポートもあり、会場とオンライン受講生ともに、質疑応答が行いやすい環境が整わっていて、お互いの話に聞き入り、受講生同士の対話がさかんに行われていた。対話を通して相互理解を深め、より深い関係の構築にもつながっている様子が見られた。



マイプロを共有する様子



画面をのぞき込んで聞いている様子



質疑応答をしている様子



資料をみながら話を聴く様子

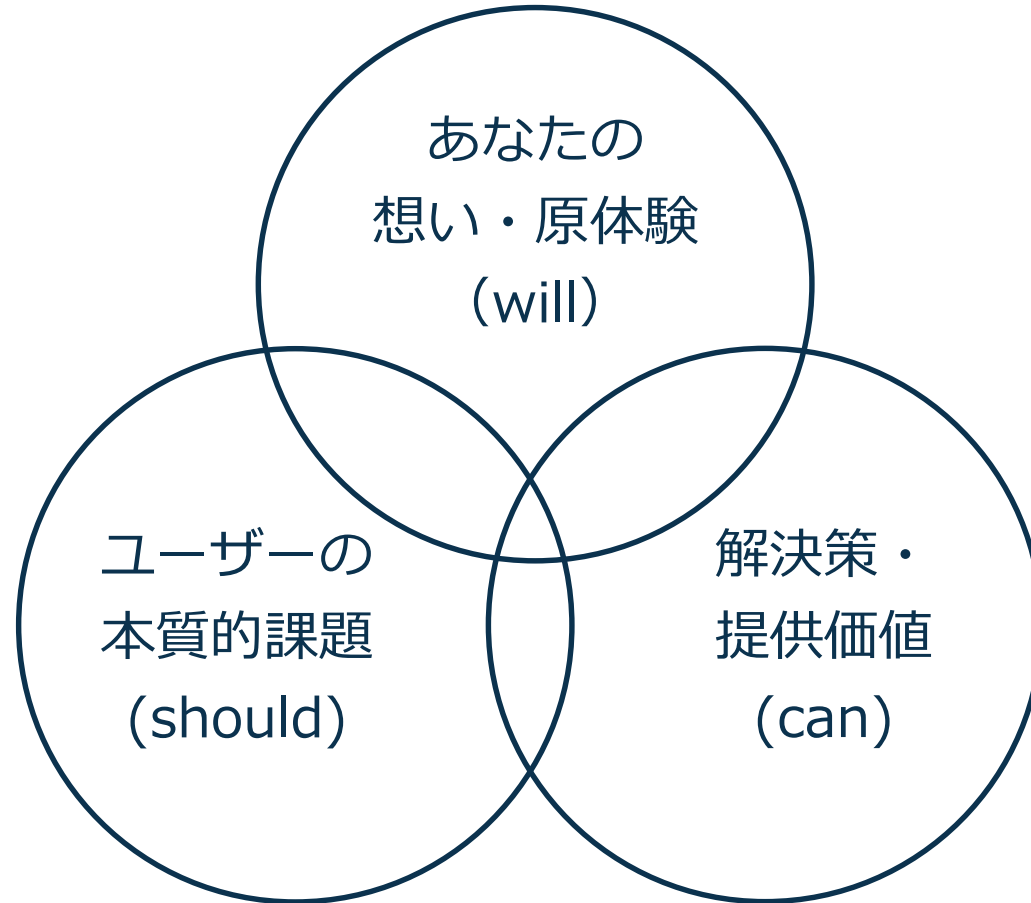


対話をしている様子



話を真剣に聞いている様子

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。